

専門実践教育訓練明示書

講座の名称	専攻科福祉専攻				
実施方法	① 通学（昼間）				
指定講座番号(15桁)	0210015	—	1910011	—	9
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間	過去一 年の講 座実績	入講者数(7人)	修了者数(7人)	
	平成元年4月1日	令和7年3月31日まで			
訓練期間	12ヶ月		総訓練時間	1,275時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格（介護福祉士） <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程（ ） <input type="checkbox"/> 専門職学位（ ） <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム（ ） <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格（ ） <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座（ ） 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		本学に1年以上在学し、53単位以上修得したことにより修了認定されること、かつ社会福祉士及び介護福祉士法第39条第3号に定める所定の単位数を修得すること			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		介護福祉士、ケアワーカー、在宅介護支援センター職員、ホームヘルパー等。老人福祉施設・介護老人保健施設・在宅福祉サービス・身体障害者福祉施設等で、ケアワーカー、相談員、指導員として活用される。			
2. 教育訓練の内容					
教科（カリキュラム）		時間	使用教材名		
社会の理解		15	人間の理解、社会の理解		
介護の基本		180	介護の基本Ⅰ・Ⅱ		
コミュニケーション技術		60	コミュニケーション技術		
生活支援技術		300	生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		
介護過程		150	介護過程		
介護総合演習		60	介護総合演習・実習		
介護実習		225	介護総合演習・実習		
発達と老化の理解		30	発達と老化の理解		
認知症の理解		60	認知症の理解		
障害の理解		30	障害の理解		
こころとからだのしくみ		60	こころとからだのしくみ		
医療的ケア		75	医療的ケア		
医療的ケア演習		30	医療的ケア		
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）					
①受講するに当たって必要な実務経験等		なし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		保育士養成施設を卒業し、保育士資格を有するもの			
③その他					

[特記事項]

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	7	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	3	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	7	人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	7	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	4	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	3	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	7	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	3			
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	3	
	4 非就業	4	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	3	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		3
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	4	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		4
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	7	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		7
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	3	人		
	3 どちらとも言えない	4	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		7

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル 到達度の把握・測定方法	GPA(科目成績平均値)を用いて学生の到達度を図っている。また、外部アセスメントとして、介護福祉士国家試験前に「学力評価試験(公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会)」を実施し、学習成果を測定している。自己採点の結果、得点率が70%を下回った学生に対しては補習を行い、一定レベルまで引き上げている。また、最終的な国家試験の合格率からも、到達度を把握している。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専門実践教育訓練明示書（一般学生用）

6. 受講効果の把握方法			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	各科目授業実施時間数の3分の2以上の出席があり、授業計画書(シラバス)に記載されている成績評価の方法・割合(学期末試験・小テスト・レポート・受講態度等)に基づき、60点(成績評価基準C)以上の者に対して単位を認定する。(青森中央短期大学学則第12条、第16条、第55条)		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	最終的な試験やレポートでの評価(総括的評価)だけではなく、小テストや課題に対する評価(形成的評価)により到達度を把握するとともに、評価結果は学生へフィードバックしている。		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	専攻科に1年以上在学し、53単位以上修得した者には、学長が卒業を認め修了証書を授与する。(青森中央短期大学学則第65条)		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	GPA(科目成績平均値)を用いて学生の到達度を図っている。また、外部アセスメントとして、介護福祉士国家試験前に「学力評価試験(公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会)」を実施し、学習成果を測定している。自己採点の結果、得点率が70%を下回った学生に対しては補習を行い、一定レベルまで引き上げている。また、最終的な国家試験の合格率からも、到達度を把握している。		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	クラスアドバイザー制を取り入れ、履修・成績についての指導・助言等ができる体制を整えている。また、専任・非常勤教員問わずオフィスアワーを設定しており、学生の質問に対して確実に対応できる時間も設けている。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 <small>(例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)</small>	・キャリア支援センターを設置し、随時就職に関わる相談を受け付けている。 ・年度始めにセンターの職員より就職に関するガイダンスを行っている。 ・学内ポータルサイトに求人情報一覧を掲示し、いつでも閲覧できるように支援している。また、掲載情報は1～2週間に一度、最新情報に更新している。		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人 青森田中学園 (代表者名: 石田 憲久)		
住所及び連絡先	青森県青森市横内字神田12番1 TEL 017-728-0131		
施設名称及び施設長名	青森中央短期大学 (施設長: 山田 順子)		
住所及び連絡先	青森県青森市横内字神田12番地 TEL 017-728-0121		
苦情受付者	氏名 寺井 和夫 所属 研究支援・地域連携課	事務担当者	氏名 伊藤 奈穂子 所属 学務課
連絡先	TEL 017-728-0121	連絡先	TEL 017-728-0121
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		788,100 円
支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	180,000 円 [第1期 348,100 円 第2期 260,000 円] (うち、必須教材費 0 円)
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		314,740 円
	① 任意の教材費(税込額)		0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		0 円
	③ 施設維持費(税込額)		200,000 円
	④ その他(行事費・衛生費・後援会費・同窓会費・学友会費)(税込額)		114,740 円
	3. 総額 (1+2) (税込額)		1,102,840 円

専門実践教育訓練明示書(卒業生用)

6. 受講効果の把握方法			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	各科目授業実施時間数の3分の2以上の出席があり、授業計画書(シラバス)に記載されている成績評価の方法・割合(学期末試験・小テスト・レポート・受講態度等)に基づき、60点(成績評価基準C)以上の者に対して単位を認定する。(青森中央短期大学学則第12条、第16条、第55条)		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	最終的な試験やレポートでの評価(総括的評価)だけではなく、小テストや課題に対する評価(形成的評価)により到達度を把握するとともに、評価結果は学生へフィードバックしている。		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	専攻科に1年以上在学し、53単位以上修得した者には、学長が卒業を認め修了証書を授与する。(青森中央短期大学学則第65条)		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	GPA(科目成績平均値)を用いて学生の到達度を図っている。また、外部アセスメントとして、介護福祉士国家試験前に「学力評価試験(公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会)」を実施し、学習成果を測定している。自己採点の結果、得点率が70%を下回った学生に対しては補習を行い、一定レベルまで引き上げている。また、最終的な国家試験の合格率からも、到達度を把握している。		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	クラスアドバイザー制を取り入れ、履修・成績についての指導・助言等ができる体制を整えている。また、専任・非常勤教員問わずオフィスアワーを設定しており、学生の質問に対して確実に対応できる時間も設けている。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 <small>(例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア支援センターを設置し、随時就職に関わる相談を受け付けている。 ・年度始めにセンターの職員より就職に関するガイダンスを行っている。 ・学内ポータルサイトに求人情報一覧を掲示し、いつでも閲覧できるように支援している。また、掲載情報は1～2週間に一度、最新情報に更新している。 		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人 青森田中学園 (代表者名: 石田 憲久)		
住所及び連絡先	青森県青森市横内字神田12番1 TEL 017-728-0131		
施設名称及び施設長名	青森中央短期大学 (施設長: 山田 順子)		
住所及び連絡先	青森県青森市横内字神田12番地 TEL 017-728-0121		
苦情受付者	氏名 寺井 和夫 所属 研究支援・地域連携課	事務担当者	氏名 伊藤 奈穂子 所属 学務課
連絡先	TEL 017-728-0121	連絡先	TEL 017-728-0121
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 608,100 円		
支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可能	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円	
	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	[第1期 348,100 円 第2期 260,000 円] (うち、必須教材費 0 円)	
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 294,740 円		
	① 任意の教材費(税込額)	0 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0 円	
	③ 施設維持費(税込額)	200,000 円	
	④ その他(行事費・衛生費・後援会費・同窓会費・学友会費)(税込額)	94,740 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額) 902,840 円		